

## 第2章 基本方針

### 1 計画策定の目的

読書は精神を成長させると言われています。子どもが読書を楽しみ、自ら進んで本を選び、読みたくなるような環境を家庭・地域・学校など社会全体で作り上げ、子どもの読書環境を総合的かつ計画的に整備・推進することを目的として「うるま市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

### 2 計画策定の基本的な考え方

本計画は、次のような考え方を基本に策定します。

- (1) 「子どもの読書活動の推進に関する法律」を策定の基本にします。
- (2) 国及び県で策定した基本計画及び推進計画を策定の基本にします。
- (3) 施策の効果的な推進に向けて諸条件を整備します。
- (4) 既存の事業について見直し、新たな施策を展開します。

### 3 計画の対象と期間

- (1) 本計画で言う子どもとは、0歳からおおむね18歳までを対象とします。
- (2) 計画の期間は、平成25年度（2013年度）から平成29年度（2017年度）までの5年間とします。

### 4 計画推進の基本目標

- (1) 読書環境の整備・充実  
全ての子どもが格差なく読書の機会を得られるよう、学校や公共図書館、その他人材等も含め読書環境の整備充実を行います。
- (2) 家庭・地域・学校の相互連携  
全ての子どもが等しく身近に読書に親しめるよう家庭・地域・学校が連携し、読書環境の整備や事業実施に取り組みます。
- (3) 読書活動のための人材育成  
ボランティア、教職員、各関係団体職員など、子どもの読書活動に携わる人々の育成およびスキルアップを図るとともに、関係者の意欲向上に取り組みます。
- (4) 市民への広報・啓発活動  
各関係機関と連携しながら、子どもの読書について市民の理解と関心を深めるため、読書の意義や効果について広報・啓発活動を行います。

### 5 主な取組

#### (1) 家庭・地域の取組

##### ①家庭の取組

- ・家庭での取組
  - ア 乳幼児期における保護者の読み聞かせの推奨
  - イ 保護者の子どもの読書活動への積極的関わり
  - ウ 家庭における1週間に1時間のノーテレビ・ノーゲームデーの設定
  - エ 保護者の各関係機関の読書関連行事への参加推奨
  - オ 保護者の公共図書館の利用推奨

- ・市の取組
  - ア ブックスタート事業の早期導入
  - イ 読書関連イベントの実施
  - ウ 読書効果の周知

## ②地域の取組

- ・地域での取組
  - ア 読書関連事業への積極的な場の提供
  - イ 関係団体の連携・協力
  - ウ 子ども関係団体への啓発活動
  - エ 読み聞かせの研修会、勉強会への参加
- ・市の取組
  - ア 未就園児への呼びかけ
  - イ 読書関連イベントの実施
  - ウ 読書効果の周知
  - エ 病院や大型店舗への絵本コーナーの設置推奨

## (2) 保育所(園)・幼稚園の取組

- ・保育所(園)での取組
  - ア 絵本コーナーの工夫
  - イ 公立図書館、小学校図書館との連携
  - ウ 子どもの読書活動への関心を高める取組
- ・市の取組
  - ア 職員の研修会、勉強会の開催

## (3) 小学校・中学校の取組

- ・小学校・中学校の取組
  - ア 読みかせの推奨
  - イ 「朝の読書」活動の確保
  - ウ 調べ学習による学校図書館活用
  - エ 特別支援の児童・生徒への対応
  - オ 読書が苦手な子への対応
  - カ 保護者や地域への子どもの読書効果の周知
- ・市の取組
  - ア 職員研修の開催
  - イ 読書環境の整備
  - ウ 「家族(ファミリー)読書」の普及・啓発

## (4) 公立図書館の取組

- ア 関係機関との協力体制の整備と促進
- イ 移動図書館の早期導入
- ウ ブックスタート事業の早期導入
- エ 施設利用促進のための創意工夫
- オ 各種事業の充実
- カ 読書効果の周知

